

JITAN NEWS

第1回 北海道ハンドメイドエゴカー
コンテストに参加して



実習紹介

板金・塗装

実習紹介

自動車整備を学ぶのに欠かせないのが実習。ジタンでは、エンジン、シャシ、電気に加え、板金・塗装の実習があります。自動車工業科第一部1年後期に行われる実習を、ちょっと一緒にのぞいてみませんか。

今回の実習は「板金・塗装」



細かくハンマーで打ち出し、フェンダーへと仕上げていく。



板金用ののこぎりで鉄板をカット。



真剣に先生の話を聞く学生たち

実習場は「ボディリペア実習場」

ボディのへこみやキズから大きな損傷まで、修理・復元する車体整備。実習ではフェンダー模型製作、パテ塗り・面仕上げ、ブラサフ(プライマー・サフェーサー)塗装・研磨、最終工程の塗装作業を通して、板金・塗装の基本知識と技術を学びます。フェンダーは一枚の鉄板から製作。鉄板にけがき線を入れて裁断し、ハンマーで打ち出して形状を作っていきます。この作業の後、フェンダーに対し、パテによる整形に入ります。

学生たちが集合したのは、校舎とは別棟のボディリペア実習場。ここでは普段、車体工学専攻の学生が実習に取り組んでおり、先生方は全員元自動車整備士であり、自動車に関してはプロの教員です。実習は班に分かれ、ローテーションで作業を実施。冬も施設内は暖かく、実習に集中できる環境です。

パテを塗り削る“職人仕事”に挑む!
パテ塗り・面仕上げの目的は、板金の歪みやへこみを埋めて平滑な面にする。ひとつの班では、パテを塗り乾いたところで、ヤスリをかけてパテ面を平にしていって作業が進んでいます。ポイントは、「一気に削らないといけな大胆さと、仕上げ部分には繊細さも必要。センスが大切な」と先生。

実習中、床に座るのは禁止。油断すると「座るな!」と先生の声が響きます。みんな真剣ながらも、楽しそうな表情がチラリ。手を動かす楽しさを感じているようです。先生が削ってみると、「デコボコがなくなった」と学生。でも、なかなか先生のようにはいかない様子…。ちなみに、見た目でデコボコが分からなくても、軍手を着けて手のひらで触ってみると、微妙な凹凸が不思議とよく分かります。



パテを削って…面は滑るか?デコボコ?



作業中も、腰が床につくことはない。



細目や超微粒子のコンパウンドを使って最後の磨き作業。



塗料を攪拌するマシンが設備されている。

スプレーガンの使い方がら学ぶ。



初塗装で学生はみんな真剣。クリアを早く吹きつけて完了。

初めての塗装。仕上がり具合は!?

塗装ブースでは、スプレーガンを使った塗装が始まっています。「20センチ離して、上から下に体を落としながら吹きつけるように」と説明を受け、実践です。今回行うのはメタリック塗装(2コート)。薄く色を塗る捨て吹きから本塗り、クリアで艶を出します。さて、イメージ通りにできるでしょうか!?

聞くと、「塗りムラのないように体を使うのが難しかった」、「色とクリアの吹きつける早さが違って少し戸惑った」、「塗装をやってみたかったので楽しかった」などの感想が上がりました。こうした経験から、ボディ部分を扱う自動車車体整備士を目指して、専攻科へ進む学生もいます。塗装と乾燥を終えた実習場では、学生たちがコンパウンド(研磨剤)による仕上げの磨きを黙々と続けていました。

担当の先生からひとこと

かつては車検整備と板金・塗装は役割が分担されていましたが、今は自動車整備士が板金や塗装、見積りも含めて担当するようになってきています。この技術は実習の中だけで身につくものではありませんが、知識を持つことは整備士としての幅を広げることに繋がります。事故車の修理見積りの授業もあり、2年生になったらプラスチック塗装や、フレーム修正の実習も行います。

私は普段、専攻科を担当しています。今日もそうですが、始まり終わりの挨拶はしっかりと、服装もチェックします。現場で扱うのはお客様の大切な車。床に座った作業着で乗ってはいけません。なので「座るな!」と。実習であっても、姿勢や心構えは整備工場と同じです。

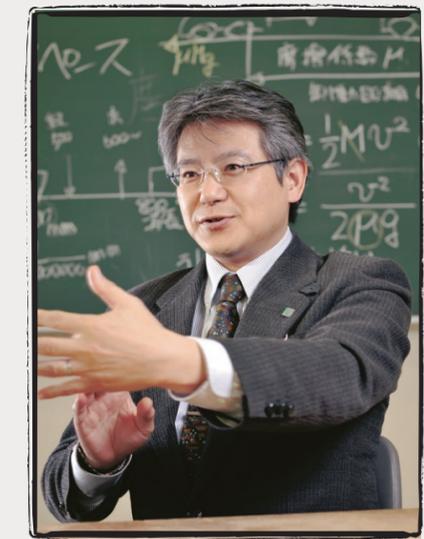


准教授 修士(経済学)
一級自動車整備士・車体整備士
芳賀 誠一先生

この先生が知りたい!

ジタンの先生ってどんな人たちなんだろう?という疑問に答える「この先生が知りたい」。今回は教授の城戸先生を紹介します。

ジタンは興味も進路の幅も広げられる大学。そして、社会で生きていく力をつける2年間です。



ジタンに着任して12年になります。大学を出て4年間は、マツダの技術研究所でロータリーエンジンの燃費を良くするための研究に携わっていました。私の研究室では、凍結路面に赤外線を当て、計測装置を使って氷の表面の滑り度合いを数値的に表現できないだろうか、といったことに取り組んでいます。学生も参加してくれていますよ。

授業は自動車の土台となるシャシや、自動車の製作といった科目を主に担当しています。北海道では特に、自動車は移動手段として欠かせないもの。現在はハイブリッドが注目されていますが、近い将来電気自動車が急速に普及していきます。保有台数が増えると、電気関係に強い整備士が必要です。電子制御技術など製造の現場にもそういった人材が必要です。ジタンでは整備士だけでなく、メーカー系の設計・開発も目指せる環境があるので、興味の幅も進路選択の幅も広げられると思います。

それと大学での2年間では、自分自身で「生きる術」を身につけてほしいですね。相手を認めてあげること、中間の経験を共有すること。大切なことです。18歳で入学してきた学生にも、18年分の経験があります。私も学生から学ぶことが多いですね。

Profile

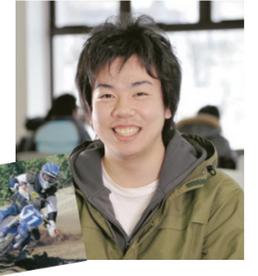
昭和61年 北海道大学大学院工学研究科修士課程修了
マツダ(株)に入社し、ロータリーエンジンの研究に従事
平成2年 北海道大学工学部機械工学科に助手として勤務
平成10年 北海道自動車短期大学勤務
平成12年 博士(工学)の学位取得



▲モータースポーツ研究部の顧問でもある城戸先生。年に2回ほど研究部で倶知安のサーキットを貸し切り、タイムレースを行っています。学生たちと一緒に、先生も愛車のピートで参戦!ほかに、溪流釣りが趣味だそう。50歳、奥様とお子さん二人の4人家族。

勉強、趣味、遊び... それぞれの事に向かってがんばる! 学生紹介 がんばってます!

モトクロスライダーとして、今シーズンはさらに上を狙います。



自動車工業科第一部1年 澤辺 陵さん(札幌工業高校出身)
父の影響で4歳からモトクロスを始めました。チームにも所属していて、シーズン中は道内各地のレースに参戦しています。冬はひたすら練習です。1戦ごとにエントリーフィーがかかるので、費用を貯めるためにアルバイトもしています。僕が取得しているライセンスは国際B級、バイクは「YAMAHA YZ 250F」です。手入れや整備は、もちろん自分でやっていますよ。モトクロスは生活の一部。もうやめられません(笑)。社会人になっても趣味として続けていきます。整備士になりたいのでジタンに進学したので、勉強はしっかりやります!でもモトクロスは、学生のうちに行けるところまで挑戦したい。今は全道戦がメインですが、全国に行って思い切り走ってきたいです。

車体工学専攻での専門的な勉強も、自分磨きもがんばります。



自動車工業科第一部2年 山田 直未さん(札幌星園高校出身)
卒業後は車体工学専攻への進学が決まっています。推薦入試で合格しました。専攻科に進もうと思ったのは、1・2年の板金・塗装の授業がとても面白かったから。今から楽しみなのは塗装ですね。パテ塗りとかサビ取りとか、黙々とやる作業も好きです(笑)。この後に二級整備士試験が控えているので、勉強にも力が入ります。今が一番、がんばってるかも(笑)。この2年間は本当に楽しかったです。みんな卒業してほしくない、と思うくらいクラスの仲間にも恵まれていました。私は、誰かに頼るよりも自分で道を切り開いていくタイプ。学生でいられるのはあと1年。勉強はもちろんですが、いろんなことに興味を持って、自分の世界を広げていきたいですね。

JITAN BOOK REVIEW

図書館の本は本学学生の共有の財産です。たくさんの本を手にとり、読んでください。本との出逢いで、有益な何かを身につけることができます。図書館から推薦図書を2冊紹介します。

「大学新入生に薦める101冊の本」



大学生が力を育てる手がかりになるかどうかを基準に選ばれた読書案内。

「ワークショップ 大学生活の心理学」



大学生生活を有意義に送るためのテキストブック。

教育 第一回北海道ハンドメイドエコカーコンテストに参加して

ソーラーカー研究会 顧問 山崎信行
ソーラーカー研究会が開発したソーラーカー「SULUSVI」で第一回ハンドメイドエコカーコンテストのフリーカー部門に参加しました。



道庁赤れんが庁舎で行われたプレゼンテーション審査

よつです。校内でのテスト走行やテレビ収録時の走行は問題なく、プレゼンテーションでモーターレスのミニカーをどうするかで部員が考慮を重ねていました。



校内でテレビの事前収録がありました。TVH「かいていナビ45」



故障の原因究明を必死で行う部員と心配そうに撮影するテレビ局スタッフUH「スーパーニュース」

ことが分かり、残念ながら修理はできない状況となりました。そんな中で、順番が回ってきたのでモーターレスのミニカーを部員全員で行い、走行は断念しました。

NEWS

板東明夫教授 国土交通大臣表彰受賞

准教授 高橋節子
平成21年10月30日、板東明夫教授が長年にわたる自動車整備技術者育成に尽力された功績により、国土交通省において前原誠司国土交通大臣から表彰されました。



表彰状

本交通科学協議会等、数多くの研究成果を発表されています。学外においては、北海道運輸局自動車整備士技能検定専門委員の公職に就かれています。

TOPICS



ホンダ・バモス 型式GF-HM1

丁酉会の九谷田会長が本校にいらっしやうたおり、本学で新しく実施されている事業(学生フォーミュラや電気自動車の製作など)のなかで、創造性のような就職後も活かせる実力を学生が付けている事を紹介しました。

NEWS

学内企業説明会

就職部長 長谷 渡
四月に入学した学生たちが就職を意識し、実際に活動し始める動機となるのが、平成22年1月28日(金)、本学で開催された学内企業説明会からなると思います。

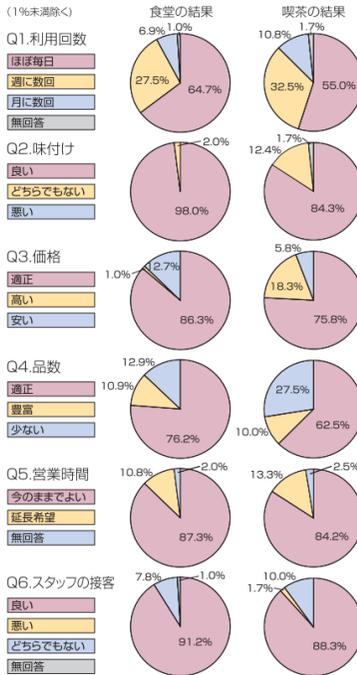


VOICE

食堂・喫茶利用者 アンケートについて

学生支援係長 高橋 康紀

のお話を伺っている学生も多くいました。現在の就職状況は様々な報道などでも報じられています。今回には大変厳しい状態が続いています。



本学が委託している株共立メンテナンスの食堂・喫茶についてアンケートを行いました。学生のみなさんの要望を今後の運営に反映し、より良い利用環境の向上に努めます。

職場探訪

さまざまなフィールドで活躍するジタンのOB・OG。そんな卒業生たちのイキイキとした姿を現在の職場を通じて紹介する「職場探訪」。今回は札幌トヨタ自動車(株)の菅原恒平さんです。



目標を実現するためにジタンに進学。責任感と充実感を胸に日々仕事に邁進中。
小学生の頃からプラモデルを作るのが好きで、缶スプレーで塗装したりしていました。

菅原恒平さん 札幌トヨタ自動車株式会社 ボデーセンター勤務
中心に損傷を受けた車体を修復する板金・塗装の専門工場です。入社後の研修を経て、昨年5月に配属になりました。

仕事は時には難しいこともありますが、やりたいことができているので楽しく、毎日充実しています。



菅原恒平さん

昼食・ドリンク付

高校新2・3年生のためのオープンキャンパス開催 13:00~

3月13日(土)に、車が好きな誰でも楽しめるジタンのオープンキャンパスを開催します。新2・3年生はもちろん、保護者や先生、社会人の方も大歓迎。

スケジュール
12:00~ 受付・昼食
13:00~ ガイダンス
13:30~ 施設見学・入試相談・奨学金相談

※実習の内容等プログラムは変更になる場合があります。



Table with 2 columns: オープンキャンパス2010 and チャレンジメカニック2010. Lists dates for various events.

学校法人 北海道尚志学園
HAEC 北海道自動車短期大学
〒062-0922 札幌市豊平区中の島2条6丁目2番1号



学校法人北海道尚志学園
北海道工業大学 ●北海道医科大学
北海道尚志学園高等学校 ●北海道自動車学校